

# 駒門駐屯地創立62周年



## 広報 駒門



整列する駒門駐屯地在隊部隊(駒門駐屯地体育館)



御来賓の方々との記念撮影



裾野市自衛隊協力会  
会長 志村 宏之氏



駒門自衛隊協力会  
会長 勝又 正人氏



機甲教導連隊長兼駒門駐屯地司令  
1等陸佐 相馬 佳輝

引き続き感謝状贈呈式及び記念撮影が行われ、肅々と進められた駒門駐屯地創立62周年記念行事は無事に終了した。

引き続き感謝状贈呈式及び記念撮影が行われ、肅々と進められた駒門駐屯地創立62周年記念行事は無事に終了した。

記念式典には、来賓の駒門自衛隊協力会会長、裾野市自衛隊協力会副会長、駐屯地各部隊における感謝状受賞者及び、防衛・駐屯地モニターのご臨席のもと、駐屯地在隊部隊員約300名が参加した。

駐屯地司令は平素からの駐屯地の任務遂行にご理解とご協力をいただいた御来賓の皆様への感謝の言葉を述べるとともに、隊員に対し、日々の厳しい訓練によりその練度を向上させ、あらゆる事態に対応できるよう即応態勢を維持し事に臨んでは「いついかなる任務が与えられようとも即応し完遂する」ことにより、国民の、そして地域の皆様の期待と信頼に応えなければ、我々の存在意義はない、記念式典の良き日に当たり、駐屯地に勤務する全隊員が気持ちを新たに、「活気ある規律正しい駐屯地」、「部隊間の連携、地域との協力」を実現できるよう、力を併せて任務に邁進していきましよう、と式辞を述べた。

記念式典には、来賓の駒門自衛隊協力会会長、裾野市自衛隊協力会副会長、駐屯地各部隊における感謝状受賞者及び、防衛・駐屯地モニターのご臨席のもと、駐屯地在隊部隊員約300名が参加した。

駒門駐屯地(駐屯地司令・相馬佳輝1等陸佐)は、令和4年4月5日(火)、令和元年度以来約3年ぶりとなる駒門駐屯地創立62周年記念行事を挙行了した。ご来場いただく地域の皆様の安心・安全の確保の最優先を検討し、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえて、一般開放を中止し、規模を縮小しての挙行となった。

一発行所一  
駒門自衛隊協力会  
事務局:富士岡支所  
Tel 0550-87-0976

裾野市自衛隊協力会  
事務局:裾野市役所  
Tel 0559-95-1874

一連絡所一  
駒門駐屯地広報  
〒412-8585  
御殿場市駒門5-1  
Tel 0550-87-1212

一印刷所一  
大和印刷株式会社  
〒410-1102  
裾野市深良3642-12  
Tel 055-965-4100

### 駒門駐屯地協力会のご紹介

駒門駐屯地につきましては、駒門自衛隊協力会並びに裾野市自衛隊協力会から様々なご支援ご協力を賜り、例年各種行事等を共催しております。

### 裾野市自衛隊協力会

裾野市自衛隊協力会は昭和44年に設立され、裾野市の住民の方々により自衛隊と裾野市民との共生共栄の実現を図ることを目的に運営しております。昨年度も新型コロナウイルスの為に各種行事等も縮小されておりますが、一日も早く元通りの状態に回復することを願っております。



会長  
志村 宏之氏

### 駒門自衛隊協力会

駒門自衛隊協力会は、同駐屯地に勤務されている隊員も多く居住する地元の方々との集まりです。コロナ禍というだけでなく、ロシアのウクライナ侵攻により自衛隊を取り巻く情勢が大きく変わりつつあります。自衛隊を守るといふ世論も高まり、自衛隊の負うべき期待もますます高まります。こういった中、微力ながら持株を応援、協力し、地元の高りとなる駐屯地がより発展するところは、私たちにとって最も喜ぶところとす。



会長  
鳥越 宏育氏

### 第1戦車大隊及び戦車直接支援隊廃止



第1戦車大隊及び戦車直接支援隊揃っての集合写真



見送りを受ける第1戦車大隊の隊員



大隊旗返還

駒門駐屯地に所在する第1戦車大隊及び戦車直接支援隊は令和4年3月17日付で廃止となり、第1戦車大隊は第1偵察戦隊へ、戦車直接支援隊は偵察戦隊直接支援隊へそれぞれ新編された。

第1戦車大隊は、昭和37年に相馬原駐屯地から駒門駐屯地に移駐以降約60年間にわたり、また戦車直接支援隊は平成14年の新編以降約20年間にわたり、駒門駐屯地の一員として地域の皆様とともに発展してきた。

この度の第1師団の改編により朝霞駐屯地での新編となったが、両部隊の今後ますますの活躍と発展を祈念する。



### 第1師団長感謝状受賞

平素から国防の重要性と陸上自衛隊の使命に深いご理解を示され、防衛基盤の育成と、第1師団の発展にご尽力されました。

特に昭和44年から東富士演習場の長期安定使用に寄与されるとともに、駒門駐屯地の各種行事に対する積極的なご支援ご協力を賜り、駐屯地の充実発展に貢献され、第1師団創立第60周年記念として、第1師団長より感謝状を贈呈されました。

### 裾野市自衛隊協力会 様

平素から国防の重要性と陸上自衛隊の使命に深いご理解を示され、防衛基盤の育成と、第1師団の発展にご尽力されました。

特に平成29年から駒門駐屯地の部外カウンセラールとして隊員のカウンセリングを行い、メンタルヘルスの維持・増進に寄与されるとともに、駐屯地・隊員の健全性向上に貢献され、第1師団創立第60周年記念として、第1師団長より感謝状を贈呈されました。

### 明和 裕子様

### 駐屯地司令感謝状受賞者

平素から自衛隊及び駒門駐屯地に対するご理解、ご支援、ご協力を頂いた個人・団体・企業の方々に對し、深甚なる感謝の意を表しまして、駐屯地司令より感謝状を贈呈させて頂きました。

株式会社ジーピーエム事業本部 磯部 恭子様  
代表取締役 土屋亮太郎様

国際活動教育隊協力会 磯部 恭子様  
駒門自衛隊協力会 南足柄市自衛隊協力会 会長 徳茂 貞雄様

裾野市自衛隊協力会 副会長 三明 正明様  
真鶴町自衛隊協力会自衛隊相談員 幹事 青木 嚴様

三字共有地管理委員会 横山 博一様  
山北町自衛隊協力会 理事 瀬戸恵津子様

機甲教導連隊OB会 副会長 小坂 和則様  
機甲教導連隊OB会 第2中隊委員 勝亦 正介様

機甲教導連隊OB会 副会長 小坂 和則様  
機甲教導連隊OB会 第2中隊委員 勝亦 正介様

### 令和4年度富士総合火力演習

### 機甲教導連隊

機甲教導連隊(連隊長・相馬佳輝1等陸佐)は令和4年5月12日(金)から5月28日(土)までの間、令和4年度富士総合火力演習に参加した。最終日に実施される教育演習までの約2週間、昼夜を問わず過酷な訓練に連隊一丸となつて挑んだ。連隊は、連隊長要望事項「練度を着実に積み上げ、二組織的に行動せよ。二安全管理、健康管理の徹底」を実践し、機甲教導連隊の威容と高度な射撃技術を内外に示すことかできた。



スラローム射撃する10式戦車



74式戦車の射撃支援下において行進射撃する90式戦車



解明した敵情を各戦車等に共有する116式機動戦闘車



敵情を解明するため前進するオートバイ



90式戦車小隊の前進を射撃支援する74式戦車



一的を設置する隊員

### 国際平和協力活動等

### 国際活動教育隊

令和3年12月23日(木)から令和4年1月23日(日)までの間、ベトナム社会主義共和国への能力構築支援のため3名が同国へ派遣され、国連アヒエ警定保安部隊に派遣されるベトナム人民軍に對し、物品の梱包に関する知見共有や技術協力等を実施した。また、令和4年1月10日(月)から3月18日(金)までの間、ケニア共和国における国連三角パートナーシップ・プログラムに2名の隊員が派遣され、ケニア軍の工兵要員に對して施設器材の操作及び整備業務に関する訓練を実施した。

さらに、1月24日(月)から3月5日(土)までの間、トンガ王国領内における海底火山の噴火に伴う自然災害に際し、国際緊急援助隊要員として1名を派遣し、支援物資の輸送業務に従事した。



派遣隊員出迎え行事



派遣隊員見送り行事

### 頭号師団「第1高射特科大隊創設30周年記念行事」

### 第1高射特科大隊

第1高射特科大隊(大隊長・矢部国光2等陸佐)は令和4年2月26日(土)及び2月27日(日)の2日にわたり大隊創設30周年行事を挙行政した。

隊員家族を招待した1日目は、訓練展示・器材展示・車両体験搭乗及び第1音楽隊による音楽演奏を実施し、2日目の記念行事では、西湘地区自衛隊協力会及び高射OB会のご臨席のもと、記念式典及び会食を実施した。

式典の式辞において大隊長は、何時如何なる状況においても任務を完遂し得るよう、即応態勢を維持し、厳しい訓練に取り組み等、運用の実効性向上による「進化」を主眼に、危機感をもって任務を遂行し、西湘地区の皆様を始めとする国民の負託にこたえて参る所存であると述べた。

協力会及びOB会の会員も久しぶりの駐屯地の訪問であり、参加者は隊員との懇談を時間の許す限り楽しみ、会は盛大に開催され無事に終了した。

- 機甲教導連隊 1尉 多田 和夫 (6月26日)
- 駒門駐屯地業務隊 曹長 内藤 晴道 (7月14日)
- 駒門駐屯地業務隊 曹長 山本 博之 (7月18日)
- 国際活動教育隊 1曹 渡邊 智矢 (7月27日)
- 第1高射特科大隊 曹長 木内 康晴 (8月28日)
- 機甲教導連隊 曹長 澁木 善秋 (9月4日)
- 高射直接支援隊 1曹 岩瀬 敏政 (9月18日)
- 駒門駐屯地業務隊 1尉 高橋 逸人 (9月19日)
- 機甲教導連隊 曹長 吉本 浩幸 (9月29日)

### 退官指揮官紹介

- 東部方面輸送隊 駒門自動車教習所長 2佐 伊藤 浩 (4月2日)

### 令和4年度モニター

- 防衛モニター1 (任期2年) 御殿場市二枚橋 在住 藤巻 伸一様
- 駐屯地モニター1 (任期1年) 御殿場市二子 在住 高橋 泰隆様
- 裾野市深良 在住 勝岡田 豊様

### 国際活動

- ◇トンガ王国国際緊急援助活動 統合任務部隊 令和4年1月24日出国 令和4年3月26日帰国 1尉 佐川修一郎
- ◇ベトナム能力構築支援 令和3年12月23日出国 令和4年1月23日帰国 2佐 石橋 孝幸
- 1尉 小口 浩介
- 2曹 中嶋 美夏
- ◇第16次派遣海賊対処行動支援隊 令和3年7月20日出国 令和4年2月6日帰国 1尉 濱田 倫行
- 3曹 高橋 翔
- ◇国連三角パートナーシップ・プログラム(ケニア) 令和4年1月20日出国 令和4年3月18日帰国 1尉 矢澤 現
- 2曹 道上 奈央

### 転入指揮官紹介

- 関東補給処 富士燃料出張所長 第10補給大隊(仙台)から 3佐 久慈 勝造
- 東部方面輸送隊 駒門自動車教習所長 第12学校給養部(富士)から 3佐 小林 輝臣

- 第128地区警務隊 駒門連絡班 第30保安警務隊(市ヶ谷)から 3尉 荒井 敏之

### 転出指揮官紹介

- 関東補給処富士燃料出張所長 転出先・東北補給処(仙台) 3佐 佐々木 正弘